

平成30年度海上の森アカデミー

里山暮らしコース

自然

とつながる

ものづくり

主催：あいち海上の森センター

ものをつくる人、自然と関わる人、暮らしを大切にする人。
みんなで考えたい新しい「里山」と「暮らし」の関係。

<開催日> 全5回

平成30年12月22日(土)、

平成31年1月13日(日)、1月19日(土)、

2月2日(土)、2月17日(日)

<予備日2月9日(土)>

この講座ではどんなことを学べるの？

里山の話と薪割り

～ 里山の現状と新たな取り組み ～

季節の植物を使った草木染め

～ 暮らしに組み込む自然の魅力 ～

やきものの野焼き

～ 人の生活と里山の関わり ～

グリーンウッドワーク

～ 木を使ったものづくりの可能性 ～

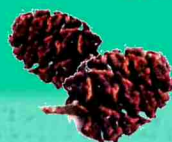


里山には



たくさんの可能性が

詰まっている。



炭や薪といった燃料が電気へと置き換わり、便利な物が溢れる現代。
人が暮らしのために山に入る必要性は薄れてきています。
しかし、そんな今だからこそ、里山には人と自然をつなぐ
大切な役割があるのではないのでしょうか。
この講座では、“自然とつながるものづくり”をテーマに、
里山の魅力や資源活用の可能性について学んでいきます。
これをきっかけに、趣味や仕事、ボランティア活動など、
様々な形で里山との関わりを深めていただけたらと思います。

この講座の
目指すところ



- <定員> 10名 (全日程参加できる方を優先)
<参加費> 無料 (ただし、保険料及び材料費として1,000円程度が必要)
<場所> 海上の森 及び 愛知県陶磁美術館

第1回 平成30年12月22日(土) 「薪割り」

里山をめぐる状況や間伐材の薪利用の話聞いた後、木を倒して薪割りを行います。

講師：高野 雅夫さん (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)
唐澤 晋平さん (一般社団法人奏林舎 代表理事)

第2回 平成31年1月13日(日) 「草木染め」

ヤシャブシの実を染料とし、板締めで手ぬぐいをモダンな柄に染め抜きます。

講師：唐澤 萌さん (染織家)

第3回 平成31年1月19日(土) 「やきもの①」

愛知県陶磁美術館で瀬戸の里山とやきもの関係を学び、土をこねて作陶します。

講師：佐藤 一信さん (愛知県陶磁美術館 学芸課長)
島田 篤さん (陶芸家)

第4回 平成31年2月2日(土) 「やきもの②」

野外でドーム型の窯を作り、現代風の野焼きによってやきものを焼き上げます。

講師：佐藤 一信さん、島田 篤さん ※ 予備日2月9日(土)

第5回 平成31年2月17日(日) 「グリーンウッドワーク」

森から伐り出してきた生の木を使い、手加工で木べらやバターナイフを作ります。

講師：小野 敦さん (NPO法人グリーンウッドワーク協会 理事長)

- ※ 講義の時間は毎回9時30分から15時30分までです。
※ 講座の内容や講師等は変更となる場合があります。

<申込方法> 平成30年12月3日(月) 締め切り (必着)

所定の申込書を郵送、メール、FAX又は持参にてご提出ください。
受講の可否について、12月10日(月)までに応募者全員に通知します。

- ※ 申込書はWebページからダウンロードするか、電話、FAX、メールで請求してください。
※ 応募者多数の場合は、県内在住、在学、在勤の方、または県外にお住まいで県内において里山保全活動等を継続的に実施している方を優先します。

【提出先】 あいち海上の森センター (☎0561-86-0606)
〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1
メール: kaisho@pref.aichi.lg.jp FAX: 0561-85-1841

【Webページ】 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaisho/30satoyama.html>



本事業は「あいち森と緑づくり税」を活用しています。

